

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	岡山県産コイ科魚類5種に寄生していたヤマトニセエラジラミ <短報>
Author(s)	長澤, 和也; 河合, 幸一郎
Citation	ホシザキグリーン財団研究報告, 21 : 142 - 142
Issue Date	2018-03
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045014">http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045014</a>
Right	
Relation	



## 短 報

### 岡山県産コイ科魚類 5 種に寄生していたヤマトニセエラジラミ\*

長澤和也・河合幸一郎

*Neoergasilus japonicus* (Copepoda: Ergasilidae)  
parasitic on five species of cyprinid fishes in  
Okayama Prefecture, Japan

Kazuya NAGASAWA and Koichiro KAWAI

**Abstract** The ergasilid copepod *Neoergasilus japonicus* was collected from the anal and dorsal fins of the following five species of cyprinids in Okayama city, Okayama Prefecture, Japan, in October of 2016 and 2017: wataka *Ischikauia steenackeri*, tamoroko *Gnathopogon elongatus elongatus*, yaritango *Tanakia lanceolata*, common carp *Cyprinus carpio*, and gin-buna *Carassius* sp. These collections represent the first records of *N. japonicus* from Okayama Prefecture. Wataka is a new host of *N. japonicus*.

ヤマトニセエラジラミ *Neoergasilus japonicus* は台湾産標本に基づいて記載された魚類寄生性カイアシ類である (Harada, 1930)。本種は日本を含む極東アジアに本来の分布域を有するが、近年、欧米や南アジアに移入・定着している (Nagasawa and Uyeno, 2012)。筆者らはわが国における本種の地理的分布を明らかにするため各地で調査を行っている (例えば Nagasawa and Inoue, 2012)。今回、本種の記録がなかった岡山県においてコイ科魚類を採集して検査したところ、本種の寄生を認めたので、ここに岡山県初記録として報告する。

岡山市内の 3 地点で本研究に用いたコイ科魚類 13 尾を釣獲した。その内訳は 2016 年 10 月 18 日に南区川張地区を流れる倉敷川近くにある用水路 (第 1 調査点) で得たワタカ *Ischikauia steenackeri* 4 尾、タモロコ *Gnathopogon elongatus elongatus* 4 尾、ヤリタナゴ *Tanakia lanceolata* 1 尾; 同日に南区浦安南町にある用水路 (第 2 調査点) で得たコイ *Cyprinus carpio* 1 尾; 2017 年 10 月 20 日に南区藤田地区にある用水路 (第 3 調査点) で得たギンブナ *Car-*

*assius* sp. 3 尾である。採集後、これら魚類を生かして広島大学に運び、体長を測定後、寄生虫検査に供した。その結果、ヤマトニセエラジラミの寄生をすべての調査点で認めた。

第 1 調査点では、ワタカ 4 尾中 2 尾 (体長 110, 195 mm) の尻鰭基部に 1 個体と 3 個体、タモロコは全 4 尾 (57, 62, 64, 67 mm) に寄生が見られ、尻鰭基部に各 1 個体、背鰭基部に 1 個体と 2 個体、またヤリタナゴ 1 尾 (54 mm) の尻鰭基部に 1 個体、背鰭基部に 6 個体が寄生していた。第 2 調査点ではコイ 1 尾 (115 mm) の背鰭基部に 1 個体、また第 3 調査点ではギンブナ 3 尾中 1 尾 (110 mm) の尻鰭基部に 1 個体が寄生していた。寄生個体はいずれも雌成体であった。

ヤマトニセエラジラミは、日本国内では北海道、群馬県、長野県、広島県、島根県、長崎県、沖縄県から報告されており (長澤ほか, 2007; Nagasawa and Uyeno, 2012; 長澤・佐藤, 2016)、岡山県からは初記録である。また、本種が分布する極東アジアではワタカへの寄生例はなく (Nagasawa and Inoue, 2012; Nagasawa and Uyeno, 2012 を参照)、本魚種はヤマトニセエラジラミの新宿主となる。

今回見出されたヤマトニセエラジラミは寄生部位から採取後 70% エタノールで固定・保存された。この標本は、わが国の他所で採集された同種標本とともに、つくば市にある国立科学博物館に収蔵される予定である。

本研究はホシザキグリーン財団から支援を受けて行われた。記して感謝する。

#### [文献]

- Harada, I. (1930) *J. Soc. Trop. Agric.*, **2**: 71-76.  
Nagasawa, K. and A. Inoue (2012) *Zoosymposia*, **8**: 81-96.  
長澤和也・佐藤秀樹 (2016) 群馬県立自然史博物館研究報告, (20): 161-164.  
Nagasawa, K. and D. Uyeno (2012) *Zoosymposia*, **8**: 106-116.  
長澤和也・海野徹也・上野大輔・大塚 攻 (2007) 日本生物地理学会会報, **62**: 43-62.  
(長澤・河合: 広島大学大学院生物圏科学研究科)

\*ホシザキグリーン財団委託業績 第 116 号